

# 新生児栄養法の選択を相談された場合

現状では、**人工栄養(育児用ミルク)**を与えることが**推奨**されている。

もし母乳による感染のリスクを説明しても、なお母親が母乳を与えることを強く望む場合には、

**3か月以内の短期母乳**や**凍結母乳**といった方法があることを説明するが、現時点ではその予防効果や安全性についての医学的な検証は十分ではないことを説明したうえで、選択していただくことが望ましい。

## 新生児栄養法の選択についてセカンド オピニオンを求められた場合

母親と産科ならびに周産期医療機関は情報共有を重ねながら、非常にデリケートな状況の中で個別に栄養法を選択していることを産婦人科医ならびに小児科医は理解しておく必要があり、母親に十分な情報提供がなされているかを確認したうえでコメントすることが肝要である。